

事業名		「生涯活躍のまち」構想推進事業			所管部課係名 企画財政部企画課企画調整係		
I. 施策区分							
戦略1		健康産業の創造					
健康に寄与する産業の活性化				市民の健康増進に貢献する産業の活性化			
①	地域産品・地域資源を活用した伊達ブランド産品の販路拡大	①	ポイントカードを活用した健康増進と経済循環	②	民間事業所等による伊達市民向け健康増進プログラムの展開	③	市民の伊達野菜の認知度向上
②	地域産品のPR・プロモーションによる地場産業の活性化	④	民間企業による商品の開発支援	④	ひとり親、退職高齢者等の一次産業就業支援		
③	伊達市観光物産館等での観光戦略の推進						
④	民間企業による商品の開発支援						
⑤	大滝区における体験型観光の取組						
⑥	健康関連事業の起業支援						
戦略2 定住促進のための環境整備							
雇用環境の向上と子育てにやさしいまちの実現				多様な人・世代の転入促進(UJI Xターン支援)			
①	若年者・女性の雇用環境の改善	①	ひとり親、若年者等の就労・自立支援	②	就労相談窓口におけるサポート		
②	若年女性の定住支援						
③	遊びを通じた子育て環境の整備	伊達を誇りに思うひとづくり					
④	放課後児童クラブを活用した教育活動の実施	①	伊達市に住むことを誇りに思う意識の醸成	②	芸術・文化の小さな拠点づくり		
移住希望者への情報提供							
①	空き家情報の一元的な提供	近隣自治体と連携した定住環境の整備					
		●	① 近隣他市町との広域連携事業の推進				
総合戦略の重要業績評価指標(KPI)		広域連携事業数 2019年度(H31年度) 4件					
戦略3 生涯現役社会の実現							
時代に合った地域づくり、安全・安心な暮らしの実現				住み慣れた地域で自分らしく生活できるまちの実現			
①	地域包括ケアシステムの構築	①	高齢者が気軽に集える場の創設				
②	健康づくり・介護予防・認知症予防事業の推進	②	市民クラブ活動支援センター等によるコミュニティ活動の支援				
		③	民間事業所による生涯現役社会実現に向けた取組の支援				
II. 事業内容							
<p>日本創生会議が平成27年6月に発表した東京圏高齢化問題に関する提言のなかで、地方移住の有な候補地となる医療介護体制が整っている全国41圏域の上位に西胆振地域が示された。</p> <p>西胆振3市3町(室蘭市、登別市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町及び伊達市)からなる西胆振医療圏では、これまで様々な分野で広域連携の取り組みを進めてきたが、充実した医療・介護体制など地域の特性を活かし、アクティブシニアを中心とした人口定住、医療集積の維持や雇用の確保など、将来にわたって安心で活力のある地域づくりに向けて、国が提唱する「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想の実現に向けて取り組むため、圏域住民の機運の醸成を目的に、生涯活躍のまちに関するフォーラムを開催したものの。</p>							
新継区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	事業期間	開始 平成 27 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託
	<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 単独	終了	平成 年度	団体名 ()	構成員 ()
決算状況		予算額	200 千円	決算額	100 千円	うち 地方創生交付金	100 千円
		財源	国・道 100 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円
		内訳	・講師(増田寛也氏)謝礼 100千円 ※室蘭市、登別市及び本市で各100千円(合計300千円)を負担				
実施した内容							
<p>・西胆振・地方創生フォーラム開催 主催:西いぶり定住自立圏形成推進協議会(西胆振3市3町) 共催:北海道胆振総合振興局 日時:平成28年1月18日(月) 午前10時~11時30分 会場:室蘭市市民会館 内容:① 基調講演「地方創生を爽りあるものに」 講師 増田 寛也氏(日本創生会議座長、東京大学公共政策大学院客員教授) ② パネルディスカッション「生涯活躍のまち」構想から西胆振の将来を考える コーディネーター 小磯 修二氏(北海道大学公共政策大学院特認教授) パネリスト 増田 寛也氏、伊達市長、北海道胆振総合振興局長</p>							

III-1. 所管課の評価結果(全体評価)			
必要性	対応性	事業の結果が対象者(団体等)のニーズを満たしているか	○
	適切性	事業の目的自体が地方創生にとって適切なものであるか	○
	効率性	事業の目的を達成するにあたって、最小の費用(あるいは適切な費用)で事業が賅われているか	○
	有効性	生み出された効果が基本的方向や人口ビジョンに照らして効果が期待できるものか	○
	公平性	事業効果の受益や費用の負担が社会における多様な集団の間に公平に分配されているか	△
※評価基準		○ 妥当である △ 概ね妥当である × 妥当ではない	
事業効果		本構想を推進するためには、地域全体が人口減少を共通の問題として共有することが重要であり、今回のフォーラムを通じて、現状把握の機会を提供することができた。また、マスコミにも取り上げられたことから、フォーラムの内容を多くの方々に周知することができた。構想を推進するための基礎づくりとして、一定の効果が得られた。	
今後の改善点		住民向けフォーラムの開催にあたっては、市広報誌やホームページ、フェイスブック等を活用し、広く市民に周知するほか、関係団体等には個別周知を引き続き行う。	
将来的な自立の見通し		本事業は、西いぶり「生涯活躍のまち」構想を推進するための初期段階として開催するフォーラムであり、将来的に継続して費用負担が発生するものではない。	
その他		平成28年度には『西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会』を設立し、構成団体(3市3町)がそれぞれ費用負担を行い事業を推進する。	

III-2. 所管課の評価結果(KPIの達成状況)			
実施計画の重要業績評価指標(KPI)	住民向け生涯活躍のまちに関する講演会の参加者数:100人	評価結果	×
※評価基準		○ 達成済み △ 達成する見込み × 達成する見込みはない	
<p>フォーラムには約400名の参加があり、一般市民のほかにも市議会議員や医療機関・福祉団体職員、伊達商工会議所定住促進委員会メンバーなどが来場した。市職員の参加を加えると伊達市からは約75名程度の参加があった。</p> <p>平成28年度では基本計画の策定作業に着手し、将来的にはアクティブシニア向けのコミュニティ活動の環境整備や通院や買い物に便利なコミュニティ交通の整備、空き家を活用した住まいの提供など様々な広域連携事業に取り組む計画である。 ※伊達市からの参加者数:75名【400名×18.7%(圏域内人口で按分)】</p>			

IV. 事業結果を踏まえた企画課評価結果			
実施状況	計画した事業が実施されているか	○ 問題なく実施している △ 社会経済情勢等の変化に伴う見直しが必要	○
重要業績評価指標(KPI)の達成見通し	現時点におけるKPIの達成状況	○ 目標達成が期待できる △ 今後の推移を見守る必要がある × 目標達成が困難である	×
	取り組み後の効果の状況	○ 期待した効果が上がっている △ 部分的に効果が上がっている × まだ効果が見られない	△
事業の今後について		追加等更に発展させる	事業内容の見直し(改善)
		事業の継続	事業の中止 ★ 予定通り事業終了
総合戦略の見直しの必要性		見直し必要	★ 見直し不要
<p>「近隣自治体と連携した定住環境の整備」を目指し、人口減少社会への対応策である同構想の実現に向けて、西胆振の3市3町と連携して実施したものである。準備段階として約400名の参加を得たことは、構想の趣旨の理解や機運醸成に繋がり、地方創生に相当程度の効果があったと考える。</p> <p>平成28年度からは、西胆振3市3町を中心に新たに設立した、『西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会』に事業を移行し、基本計画の策定や住民啓発等を実施するため、本事業は予定どおり終了とする。</p> <p>【参考:平成28年度より広域連携事業として、『西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進事業』と発展的に改めて既に事業を開始している】</p>			